

第171回 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会次第

日時 2022年6月23日(木) 10時00分~11時50分

場所 ZOOM会議

【配布物】①第170回定例会報告書 ②第171回定例会次第

議題

○福島障連協の会員の現状について
会員数: 50

○報告事項
第170回定例会報告書について

○協議
①総会・行政説明について
②第17次アンケート調査について
③福島県立だて支援学校見学について

○情報交換

【次回】 第172回定例会 令和4年7月28日(木) 10:00 ~ 11:50 場所: ZOOM

第 170 回 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会報告書(案)

日 時 2022 年 4 月 21 日(木) 10 時 00 分～11 時 40 分

場 所 ZOOM 利用によるオンライン開催

参加者 父の夢:古川 おおぞらの夢:岡崎 ポネール:谷野 ろんど:丸子 もちずりワーク:千葉 けやきの村相談:舟山
けやきの村:菅野 なのはなの家:佐野 あづまライフきぼう:高橋 あづまライフささや:渡辺 ぼけっと:吉田
ILセンター:長澤 旅行を考える会:孝浩 大萱荘:渡部 きらら:黒田

配布物 ①第 170 回定例会次第 ②第 169 回定例会報告 ③令和 3 年度研修会感想まとめ ④提言書案
⑤令和 3 年度事業報告関係文書(収支決算報告・収支表・監事監査報告書)
⑥令和 4 年度事業計画関係文書(事業計画案・収支予算案)

議 題

○福島障連協の会員の現状について
会員数:52 “あづまライフきぼう”様 新規加入

○報告事項

- ① 第 169 回定例会報告書について
訂正を要する箇所等なし
- ② 福島市いきいき共生社会推進委員会委員・福島市災害時要援護者避難支援連絡会委員・要援護者支援パッケージプロジェクト会議委員の推薦について福島市障がい福祉課から、本会からの委員選出依頼あり。会長渡部の調整により以下の通りとなった。
 - ・福島市いきいき共生社会推進委員会委員
身体 ☞ けやき:舟山さん 知的 ☞ 父の夢:古川さん 精神 ☞ つくしの里:加藤さん
 - ・福島市災害時要援護者避難支援連絡会委員 並びに 要援護者支援パッケージプロジェクト会議委員 ☞ 舟山さん・古川さんをお願いした。 皆様ご協力を。

○協議

- ① 令和 3 年度研修会の振り返り
感想として BCP 整備の重要性やそれに基づいたシミュレーション等の重要性などが挙げられている。(別紙資料としてまとめたものを添付)
 - ☞ 今回の研修に関して、IL センター長澤さんが機関紙『こすもす』に非常に詳しく掲載してくれた。感謝申し上げる(孝浩)
- ② 第 16 次アンケート調査報告書及び提言について
提言としてまとめたものを添付した。内容としては昨年度の提言に沿ったものであり、行政により対応済み、或いは未対応の事項など、取捨を要する部分などあれば教えてほしい。
 - ☞ 内容的にはこのままでよいかと思う。なお、「災害時要援護者」という呼称は「避難行動要支援者」と置き換えながら、報告事項②に挙げられた協議会を発足させるなどをはじめ、今後障がい福祉課・長寿福祉課が一体となり推進する。要援護者登録の勧奨をはじめ、各方面整備が進むことになるだろう。(古川)

特に修正を要する箇所等なければこの内容で提出とする。
- ③ 令和 4 年度総会について
今年度も ZOOM 開催とする。開催日時については後述。
議案は ①令和 3 年度事業報告 ②同決算報告 ③令和 4 年度事業計画 ④同予算案とする。
併せて、福島市・伊達市にも出席を要請し“行政説明”の場面も設ける。このため両市担当者との調整もあることから、開催日時については現段階では確定とはしない。
総会開催における議長ほかの役割は、会長渡部より依頼。
- ④ 令和 3 年度事業報告・決算報告について(関連資料添付あり)
 - ☞ 収支に関しては会費の二重振り込み等数件あり返還・確認等が必要。
 - ☞ 会費納入時の手数料の取り扱いについて要検討。その扱いによっては、決算報告書の摘要記載も見直す要あり。

次年度の会費納入に関しては、手数料は会員事業所負担とする。
- ⑤ 令和 4 年度事業計画・予算案について(関連資料添付あり)
 - ☞ 予算案に関しては資料の通りだが、こちらも会費の取り扱い変更に伴う修正を要する。
※決算報告・収支表・収支予算案等、修正後再度会員施設に送付しご確認いただくようにする。

○情報交換

佐野[なのはなの家]

4/11 信夫山にて 23 名参加のもと花見会を実施した。当初、噴水公園での食事を考えていたが、それは見合わせ施設に戻っての食事だったが、久しぶりにいい花見だった。

岡崎[おおぞらの夢]

ニコの夢で陽性者発生し、4/20 から今週いっぱいの臨時休業。別敷地ではあるが、おおぞら・新おおぞらの利用者にも情報お伝えしている。お休みいただいた方には“電話相談支援”の対応とした。

学校での感染が家庭に持ち込まれる事例があり、影響が出ている。

おおぞら・新おおぞらについては、直接の影響なく、通常活動としている。花見は人出のピークを外して少人数ずつあづま運動公園や茂庭方面などに出かけている。

古川[父の夢]

3/16 の地震で外壁に被害を受けた。人的被害はなし。補修にはそれなりの費用が見込まれる。年度替わりで班編成の変更や職員の異動などがあり、ご利用者それぞれ様々な思いのもと新年度を迎えたかと察する。

花見は各班分散し昨日(20 日)までのスケジュールで実施した。花は終わりに近かった。しかし晴天の下広々とした場所で気分転換ができた。

ニコの夢の話題にあったが、学校活動での感染拡大が多い。感染の不安あれば、地域の薬局などで行っている無料 PCR 検査の利用などで、リスクと不安の解消を是非にと申し上げておく。

舟山[けやきの村相談]

コロナ関連では法人全施設、今のところ利用者への感染ない。職員 1 名が陽性の事例あるも、それ以上の拡大なく経過。

4 月の人事異動で入所施設の施設長が替わっている。この詳細はけやきの村菅野園長からご報告。

法人の社会貢献として 1 月から飯坂地区での“こども食堂”の運営に協力している。5 月からは 2 ヶ所目が立ち上がる見込みであり、そちらへも協力を検討している。

渡辺[あづまライフささや]

『今年度よりあづまライフささや管理者となりました渡部哲郎と申します。よろしくお願ひします。』

コロナの感染拡大により延期されていた実地指導が昨日無事終了した。

コロナ関連ではこれまで感染者の発生ない。4 回目ワクチン接種始まれば、保護者の皆様の協力ながら接種を進めたい。コロナ拡大で外出系イベントが中止となり、ストレス蓄積している。その発散のため運動の機会や屋内でのイベントを準備している。

菅野[けやきの村]

先に舟山から触れられた通り、4 月からけやきの村園長に着任した。なお静心園には 斎藤美恵子 が、青松苑には 野地与一 がそれぞれ施設長として着任した。

これも先ほどあったが、職員 1 名のコロナ感染の事例あり。そこからの拡大はなくホッとした、職員の家族がどうこう…という事例は断続的に発生している。学校を介した感染・接触などの事例が多く警戒している。

谷野[ボネール]

地震により建物一階部分にクラック被害を受け補修を要する。第 2 ボネールは屋根瓦が大きく被害を受けた。安全策としてトタン屋根に葺き替えを考えたが、公的な補助金は原状復帰以外の補修・修繕には適用されにくい(伊達市のみ?)

NPO 難民を助ける会ほか から支援を受けられることにはなったが、多額の費用捻出に迫られている。利用者・職員共に人的被害はなし。同時期、職員にコロナ濃厚接触者発生も、臨時の休業中だったため、接触者の広がり等はなかった。

BCP の策定を担当することになり、各方面から参考資料を収集している。皆さんの事業所での策定事例なども参考にさせてほしい。

花見を実施できた。毎月一回設けている自由活動日に近所のお寺の花を愛でることできた。外でのお弁当も考えていたが強風で断念したが、満開の桜を愉しめた。

4 回目のワクチン接種も、これまで同様近くの病院の協力で進めることになるか。副反応を見越した対応も検討要するか。

長澤[IL センター]

相談支援スタッフの陽性判明あり、業務上の接触者として、他のスタッフも出勤を控える等の対応となった。それにより開催予定だった運営委員会はやむなく中止。毎回ご出席の孝浩さん、吉田さんにはご迷惑をお掛けした。また、例年なら機関紙『こすもす』の発行に併せて総会開催のご案内もしていたが、『こすもす』発行に関しても現時点では保留となっている。

千葉[もちずりワーク]

3月に利用者の両親ともに陽性の事例があった。ワークの利用者は濃厚接触となるも、陽性は免れた。また、ほかのサービス利用で濃厚接触となり、その状態でワークを利用してしまったといった事例もあった。その方は陰性だったが、利用経過があったことからワーク独自で安全確認のための抗原検査行った経過ある。先にも触れられた通り、学校がらみの感染事例が多く、出勤できない職員も多く、ギリギリでの営業続いている。

お花見は実施できた。小グループでのドライブとなっている。桜は終わりだが、桃の花など楽しめている。

昨年度末から、保護者の体調不良などの事例多く、利用者の生活拠点調整を迫られる場面が増えた。入所施設への移行事例もあった。

吉田[ぼけっと]

4/8 第27回目のエコクラフト展示会開催。本来は講習会として開催だが、感染症対策として展示会形式とした。

4/12 花見を行った。作業所内でお弁当とし、その後美術館で和合光昭氏の写真展を見学。さらに清水学習センター付近の松川堤で観桜。2年ぶりの花見を愉しめた。美術館では偶然にクリエイティブファクトリーのメンバーと、これも2年ぶりに会うことができ嬉しかった。ぼけっとは今年度も頑張っていくので、よろしく。

黒田[さらら]

自身の家庭内に陽性者発生した。陽性となった当人に症状は全くなく、勤務先において検査の機会があったから判ったようなもの。どこで感染し、拡大させているか分からない。社会が経済活動にシフトしていく中、その状況をどう捉えて対策をしていくのか難しい。重症化傾向は低いといわれるものの、ハイリスクの方々をどう守るかに主軸を置くほかないと考える。

孝浩[旅行を考える会]

4月と5月にバスツアーを検討していたが、感染者数は高止まり。集団旅行のリスクの高さを鑑み3月の時点で企画の中止を決めた。

海外では一部で脱マスクの動きあり、海外旅行を取り扱う代理店はあれこれの対策までもセットにして商品化しているようだ。しかし、当会としては秋まで静観の構え。

障連協の活動について、伊達市の課長・係長ともに好意的に捉えてくれている。総会ははじめ折々の活動への積極的な参加・協力を得られるかと思う。

丸子[ろんど]

3/16の地震では、発生後直ちに安否確認を行ったが、昨年2月の地震を経験もあったのか、利用者全員の安否確認がスムーズに進んだ。

3/31開催の運営懇談会はネット環境を利用することで、リアルタイムでの説明や意見交換をすることができた。参加いただけただのは4名の方だったが、好感触だった。今後も同様の開催スタイルをとっていくことになるか。

レクリエーションは桜堤公園に出かけることができた。強風ではあったが、球技に興じるとか団子を楽しむなどできた。

ワクチン3回目は3~4月にかけて進んでおり、現時点で8割程度が接種済み。4/24には全員終わられるか。ろんど内においては陽性者や濃厚接触者の発生はないが、学校の学級閉鎖により影響ができることがあった。この状況いつまで続くのか…。

5/15障がい者スポーツ大会への参加を予定している。5/27立子山自然の家にてバーベキューを予定。喫茶店の営業に関しては、ランチを400円から500円に値上げせざるを得ない状況。食材仕入れ値の高騰により。今後も何とか値上げを回避しながら安全・安心の視点に立った食事の提供を続けたい。

渡部[大萱荘]

4/12に花見を行った。食事は通常どおり食堂でとなったが、今年は満開の桜を楽しむことができた。

3月末、外部利用者の陽性判明を発端に、利用者・職員全員がPCR検査の対象となり、また職員の多くが自宅待機を余儀なくされた事例があった。大変な状況ではあったが、幸いにして感染の拡大はなかった。

利用者の加齢に伴い、水分摂取量や排泄管理などをはじめとした健康観察について、高齢者に合わせた視点で行う必要性が顕著になっている。

次回 令和4年度福島県北地区障がい福祉連絡協議会定期総会

令和4年5月27日(金)10:00~12:00 ZOOM 利用によるオンライン開催とする。

福島県立だて支援学校の見学について

当協会の副会長 佐藤孝浩が伊達市及び支援学校と打ち合わせを行い、見学が下記の通り、実現できましたのでお知らせいたします。

記

日 時： 7月6日（水）10時～11時（募集人数：最大20名まで）
場 所： 福島県立だて支援学校
住 所： 〒960-0634 福島県伊達市保原町大泉字大館78番
T E L： 024-572-6676 FAX：024-577-7482
担 当： 二瓶 睦（にへい あつし）教頭先生

※なお当日、参加される方は現地集合、解散となります。